広報

はちまんたい

農と輝の大地——八幡平市

2009.6.4
No.84

今月の表紙

「燃えろ150人、勝利をめざして！」をテーマに掲げた安代小学校大運動会は５月23日、同校校庭で行われました。児童たちは、徒競走や応援合戦、親子レースなど、この日のために練習してきた23種目で熱戦を繰り広げました。（＝写真は紅白玉入れ＝、関連記事は11ページ）

●主な内容

八幡平市庁舎建設基本計画を策定…02
アンソメット岩手八幡平が始動…06
福祉ねっとわーく…10
話題ピックアップ…14
お知らせ…18

八幡平市の新たな象徴に
市庁舎建設基本計画取りまとめ

庁舎建設の基本計画策定されました

17年9月1日に合併して誕生した市は、まもなく合併4周年を迎えようとしています。この間、合併時に旧3町村長が取り交わし、議会で承認された合併協定と新市建設計画に基づいて健全に市政を運営してきました。

中でも新庁舎の建設については、▽通称「平舘・野駄田圃付近」に建設▽合併後5年を基本▽庁舎建設基金の創設など具体的に協定しています。

市は、こうした基本合意を最大限に尊重しなければならないと考え、各種団体や公募参加の市民で構成された庁舎建設検討委員会を組織。活発

な協議・検討を重ね、パブリックコメントなどの意見も参考としたうえで5月20日、八幡平市庁舎建設基本計画を取りまとめました。

この計画には、大きく分けて①新庁舎の位置、②新庁舎の規模、③事業費および財源、④スケジュール、⑤既存施設の利活用について示されています。今回は、この5項目について解説します。

① 新庁舎の予定地は平舘野駄田圃に

新庁舎の位置は、下に示したとおり通称「平舘・野駄田圃」の中でも、野駄第21～22地割内としました。

市を代表する優良農地の一角へ建設することから、今後の農業経営に支障なく、農地の集団化が保たれるよう配慮しました。

また、国道282号や西根バイパスの計画など、地域の主要な道路に近接して交通の便も良好。加えて、市内にある12の駅の一つ、JR北森駅を移設・併設すれば、市を南北に縦断する鉄道網との相乗効果も期待できます。

さらに、この地域には市有地もあることから、事業費も抑えられます。

② 新庁舎には駅と多目的ホールを併設して適正な規模と機能を備えます

新庁舎は、災害時には司令塔として中枢的役割を果たすため、耐震性と防火性に優れるとともに、火災からの類焼の影響を受けないよう、ある程度の空間が必要になります。さまざまな要素を考慮して、敷地面積は２万６０００平方メートルとしました。

新庁舎の規模の算定には、本庁舎に勤務する職員数を基礎とするので、市の職員定員適正化計画の25年度の職員数から、２００人を想定します。議員数については、次回の選挙以降の定数となる24人を想定します。こうした数字に基づいて、庁舎内の市民サービスに必要なスペースなどを考慮して積算。必要な床面積は、５４００平方メートルと算定しました。

庁舎建設基本構想には、市民活動を支援するために市民が自由に利用できる多目的ホールの設置を計画しています。講演会や大規模な会議をはじめ、各種会合などの市民活動を支援する施設として整備します。このホールは、市役所の閉庁時にも利用できるよう、セキュリティーに配慮し、市役所とは別棟として建設します。

来庁者駐車場は、市役所や併設を検討している駅などの利用者の利便性を考慮して、適正な規模と配置が必要になります。また、国道２８２号とＪＲ花輪線との間にも駐車場を設け、線路を横断するための自由通路を設置して利便性を高めます。

なお、併設を検討している駅については、ＪＲ東日本との協議を重ねている段階です。今後策定される詳細な建設計画や周辺環境整備計画を基にして、さらに具体的な協議を進め、市民の利便性を高めていきます。

新庁舎との併設が検討されているＪＲ花輪線北森駅

③ 総事業費は25億７９００万円で合併特例債など有利な制度を活用します

新庁舎の建設に要する経費の算定は、求められる機能と必要な面積の算定を行い、近年の建設事例などを参考として、積み上げ方式で行いました。この結果、左の表１に掲げたとおり、25億７９００万円と算定されました。

合併協議の段階で例示した事業費20億円よりも、５億７９００万円の増額となっていますが、主に二つの理由によるものです。

第一点として、庁舎内に配置する職員数が２００人となり、合併協議で想定されていた１３０人規模の施設よりも大きくなったことが挙げられます。

合併協議の中で例示した事

●表１　庁舎建設費の算定

区分		数量	事業費
庁舎建設関係	用地買収および造成工事	21,000㎡	2億5,200万円
	地質調査	一式	1,000万円
	設計および監理など	一式	1億5,860万円
	本体工事（耐震構造）	5,400㎡	16億2,000万円
	付帯工事（公用車車庫）	1,080㎡	1億4,040万円
	外構工事（駐車場など）	17,300㎡	1億7,300万円
	小計		23億5,400万円
多目的ホール		900㎡	2億2,500万円
合計			25億7,900万円
財源内訳	庁舎建設基金		10億円
	合併特例債		14億7,900万円
	一般財源		1億円
	合計		25億7,900万円

業費は、あくまで参考のための試算で、合併後の組織機構により変化するものとしていました。

第二点として、市民の皆さんからの要望が多かった交流・活動の拠点となる多目的ホールの併設を計画したことによるものです。

総事業費については、こうした理由などのため増加する結果となりましたが、市民の利便性を高めるために必要な機能を備えた庁舎を計画しました。

庁舎建設に要する経費の財源内訳については、表1に示したとおり、その大半に毎年積み立てている基金と合併特例債を優先的に充てます。合併特例債は、その元利償還金の70％に対して国から支援のある有利な制度で、合併した自治体のみが利用できます。

また、省エネルギー設備の導入事業や防災関連対策事業などに対する、国・県などの新たな補助事業の導入についても積極的に検討を行うものとします。

④ 地質安定期間を十分に取り平成26年度の完成・供用開始を目指します

庁舎建設までの今後のスケジュールは、下の表2に掲げたとおりです。

災害時には、対策本部機能などを担うことになる新庁舎には、地震などの災害に強いことが求められます。このため、用地造成の段階で十分な地質安定期間を設け、市庁舎建設基本構想では25年としていた新庁舎の完成年度を、26年の完成を目指すものとします。

なお、アクセス関係道路については、庁舎建設事業と並行して計画的に進めていきます。

⑤ 現在の本庁舎は市民活動や交流の拠点で有効に活用します

既存施設の有効活用は、基本構想においても重要な課題と考え、検討を重ねてきました。

現在、本庁舎として使用している建物の利用法については、左の表3に示したものが想定されています。大きく分けて、市民が中心となって行われる活動や交流の拠点、起業家支援や産学官連携の中心となる施設としての活用です。

新庁舎建設まで、これから6年ほどの期間が必要になることから、さらに検討を加えて具体化します。

現在の松尾総合支所庁舎は、耐震基準を満たさないことから解体撤去しますが、車庫については引き続き利用するものとします。跡地については、今後策定される市第二次総合計画の中で具体的な利用計画を検討します。

庁舎建設基本計画について詳しくは、市企画総務部庁舎建設対策室（☎76－2111、内線1412）まで。

●表2　今後のスケジュール

事業項目	年度					
	21	22	23	24	25	26
全体計画	➡					
基本設計	➡					
用地買収		➡				
実施設計		➡				
許可申請		➡	➡			
造成工事			➡	➡		
建築工事				➡	➡	➡
外構工事					➡	➡

●表3　現庁舎の利活用の方向性

分類	利活用の方向	想定事項
市民活動の促進	市民活動の拠点	サークル活動など
	公益的団体の拠点	自治組織など
	生涯学習施設	図書館
交流の促進	市民交流の拠点	ラウンジ、サロン
	都市との交流拠点	グリーンツーリズム
産業の振興	起業家支援拠点	中小企業創業事務所
	産学官連携拠点	大学地域連携関係施設など
	農林振興拠点	森林組合など
その他	その他	資料室など

市民に愛される地域密着のチームを目指して――

アンソメット岩手八幡平始動

いずれは「J」と名の付く舞台へ――。Jリーグ昇格という高い目標を掲げて、八幡平市に本拠を置くサッカーの社会人クラブチーム、アンソメット岩手八幡平（代表・高橋義利いこいの村岩手社長）が設立されました。

「アンソメット」とは、フランス語で山並みを指す言葉。八幡平、岩手山、七時雨山など恵み豊かな山々に囲まれた市のイメージから名付けられたものです。

5月8日には、同クラブが本拠を置く、いこいの村岩手で所属選手やスタッフ体制を発表。高橋代表は、「チームプレーを大事にして、じっくりと力を付けていきたい。地域の皆さんと交流を深めて愛されるチームを目指したい」とあいさつしました。

選手兼任の丸山富洋監督は、「どんなチームと戦っても自分たちの力を出せるような、勝ちにこだわるチームづくりを目指したい」と抱負を述べました。

同クラブは、いこいの村岩手に本拠を置き、次の4点を目標として掲げています。

①市民クラブチームとして八幡平市民に愛されるチーム
②青少年育成として、スポーツ少年団や小・中・高校生への指導など地域に根ざした活動を通して、一体感のあるチーム
③志を抱いた選手たちの集団が、練習を通じて輪を広げ、チーム力を上げていく
④最終目標は「J」と名の付く場へ

同クラブに所属する選手は21人で、それぞれのポジションは次のとおりです。

▽GK　東風淳（主将）、カルロス・サロモン（コーチ兼任）
▽DF　丸山富洋（監督兼任）、鹿糠幸司、宮本ハファエル、照井貴之、伊藤宝、晴山太志、鳥居逸人
▽MF　菅原弘徳、及川ギレルメ、島守勇次、曽根祐一（コーチ兼任）、高橋達矢、早坂和也、野口昌宏、竹田真也
▽FW　高橋信、高橋一貴、ハルキ・キヨシ、ライオン

西根中学校サッカー部
畠山和弥　主将

アンソメットの皆さんから、さまざまな視点から指摘や指導をしてもらうことで、より多くのことを吸収できています。練習で学んだことを、試合の中で生かしていきたいと思います。

合言葉は、地域との一体感

市民に愛され、
地域に根ざした活動。
いずれは「J」と名の付く
舞台で戦うチームに。

地域と密着して、市民に愛されるチームを目指すアンソメット岩手八幡平は、所属選手を派遣してサッカー指導にも力を入れています。西根中学校には、部活動へ選手を派遣。さまざまな面で生徒たちを指導し、6月20、21の両日に行われる地区中学校総合体育大会を目指して、練習に取り組んでいます。

市民に愛される地域のクラブチームを目指す同クラブは、地域密着活動の一環として、サッカー指導にも力を入れています。

選手たちは、午前中に週6日の練習をするほか、生業を持つ社会人選手と夜間練習も行っています。こうした練習のかたわら、市内の中学生への指導や県サッカー協会のキッズ巡回指導にも取り組み、地域の青少年の健全育成や競技力の向上に力を入れています。

西根中学校(佐藤嘉彦校長、生徒359人)のサッカー部には、日々の部活動へコーチ役として所属選手を派遣。同校の佐藤校長は、「アンソメットの皆さんから、技術面だけではなく、精神面でも良いものを吸収できればいいと思います」と期待をかけます。

アンソメット岩手八幡平の初戦は、5月10日の第59回県選手権大会兼第89回天皇杯全日本選手権県予選でした。盛岡市の県営運動公園で、盛岡中央高校と対戦。0－0でのPK戦の結果、5－4で惜しくも敗れました。

3月に設立された同クラブは、チームとしての本格練習は4月中旬に始まったばかりで組織的なプレーの構築などはこれからの課題。練習量の少ない、生業を持つ社会人選手との連携など課題は残りますが、DFとして出場した丸山監督は、「本気で戦う意識を持ち、仕切りなおして次の試合に臨みたい」と闘志を燃やしていました。

同クラブの次戦は、6月21日の第16回全国クラブチームサッカー選手権大会の県大会。午後1時半から、北上市の岩崎城運動公園でキックオフ予定です。

アンソメット岩手八幡平について詳しくは、同クラブ事務局(いこいの村岩手内、☎76－5580)まで。

税金のお知らせ

市・県民税の公的年金からの特別徴収 10月から制度がスタートします

特徴 特別徴収の制度

10月から市・県民税を公的年金から特別徴収（天引き）する制度が始まります。この制度の対象となるのは、65歳以上の公的年金を受給している人で、市・県民税が課税になる人です。

対象となる税金は、公的年金所得に係る市・県民税の均等割額と所得割額です。公的年金以外の給与所得や事業所得などの所得割額は今までどおり給与からの特別徴収あるいは口座振替や納付書による納付となります。

この制度は社会保険庁などの「年金保険者」が、公的年金から市・県民税を天引きして、納税する人（年金受給者）に代わり市に直接納めるものです。

すでに実施されている国保税や後期高齢者医療保険料の公的年金からの特別徴収とは異なり、口座振替の選択制度はありません。要件に当てはまる人全員が、特別徴収の対象となります。また納税する方法が変更になるだけですので、年間の税額計算方法はこれまでと同じです。新たな税を負担するものではありません。

特徴 対象となる人

次の❶から❹の全てに該当する人が対象となります。

❶21年4月1日現在に、老齢基礎年金などを受給している65歳以上の人

❷老齢基礎年金などが年額18万円以上の人

❸介護保険料が年金から特別徴収されている人

❹老齢基礎年金などの年金支給額から介護保険料などを引いた残りの額が特別徴収される市・県民税額より多い人

※21年1月1日以降に市外へ転出した場合には、特別徴収が中止となります。

特別徴収となる年金は、受給している人の年金の種類や金額によって異なります。対象となる人には、6月中旬に送付する納税通知書に年金の種類や税額を記載しています。

詳しくは、市市民部税務課（☎76－2111、内線1245～1247）まで。

特別徴収の方法

※21年度と22年度以降では徴収方法が異なります。

Aさん

収入が公的年金のみで、21年度の市・県民税が36,000円、22年度の市・県民税が27,000円であるAさんの場合

21年度

納付書での納付		年金からの天引き		
6月	8月	10月	12月	2月
年税額の4分の1		年税額の6分の1		
9,000円	9,000円	6,000円	6,000円	6,000円

22年度

年金からの天引き（仮徴収）			年金からの天引き（本徴収）		
4月	6月	8月	10月	12月	2月
前年度の2月と同額			（年税額－仮徴収税額）の3分の1		
6,000円	6,000円	6,000円	3,000円	3,000円	3,000円

光化学オキシダントにご注意

光化学オキシダントとは、工場や自動車などから排出された窒素酸化物や炭化水素などが太陽光線の中の紫外線により化学反応を起こして発生すると言われています。

一般的には春から夏にかけて、気温が高く、日差しが強く、風があまり無いような日に多く発生すると言われています。強い日差し、最高気温が24度以上、風が弱い、薄曇りや晴天が続いている、夏型の気圧配置のときには注意が必要です。

健康への影響

光化学オキシダントによる健康被害は、目がチカチカする、のどが痛むなどの症状のほか、頭痛、吐き気、息苦しいなどの症状が出ると言われています。オゾンなどの酸化力の強い物質により眼や気管などが刺激を受けて発症するもので、被害者の多くは小中学生などの子どもです。

被害の防止対策

県では、19年度に高濃度の光化学オキシダントが測定されたことから光化学オキシダント注意報発令時等対策要綱を定め、被害の防止を図っています。基準値を超える光化学オキシダントが測定された場合、県から連絡があり、ただちに防災無線により皆さんに注意報を発令します。

注意報が発令された場合は、次のとおり行動してください。

❶屋外での激しい運動をやめて、なるべく屋内活動に切り替える。

❷屋内では風向きを考慮し、窓を閉めるなど外の空気が入らないようにする。

❸不要な外出は避け、自動車の利用をなるべく控える。

※注意報が発令されてすぐに被害が発生するものではありません。

万が一、健康被害が生じた場合は目を洗い、うがいをして室内で安静にしてください。また手足のしびれ、呼吸困難、失神などの症状が出た時は、直ちに医師の手当てを受けてください。

詳しくは、市市民部市民課（☎76－2111、内線1137）まで。

農業委員の任期満了に伴い、農業委員会委員一般選挙が８月２日㈰に告示され、９日㈰に投開票が行われます。

選挙で選ばれる農業委員は30人で、次の定数により選挙を行います。

選挙区	区域	定数
第一選挙区	西根地区	16
第二選挙区	松尾地区	7
第三選挙区	安代地区	7

この選挙で投票できる人や立候補できる人は、八幡平市農業委員会委員選挙人名簿に登録されている人です。

■期日前投票

投票日に投票できない人は、期日前投票を行いましょう。

▷期間　８月３日㈪～８日㈯
▷時間　午前８時半～午後８時
▷場所　第一選挙区　西根地区市民センター
　　第二選挙区　松尾総合支所　談話室
　　第三選挙区　安代総合支所　１階会議室

詳しくは、市選挙管理委員会事務局（☎76-2111、内線1299）まで。

農業委員会一般選挙の日程

■立候補予定者説明会

◉第一選挙区
日時　７月８日㈬、午後２時～
場所　市役所　大会議室

◉第二選挙区
日時　７月８日㈬、午前９時半～
場所　松尾総合支所　大会議室

◉第三選挙区
日時　７月９日㈭、午後２時～
場所　安代総合支所　大会議室

■立候補届け出書類の事前審査
日時　７月23日㈭、午前８時半～午後５時
場所　第一選挙区　市役所　中会議室
　　第二選挙区　松尾総合支所　第２会議室
　　第三選挙区　安代総合支所　大会議室

■告示
日時　８月２日㈰、午前８時半～午後５時
場所　第一選挙区　市役所　大会議室
　　第二選挙区　松尾総合支所　大会議室
　　第三選挙区　安代総合支所　大会議室

■投票
日時　８月９日㈰、午前７時～午後６時
場所　入場券に記載されている投票所

８月９日㈰は農業委員会委員一般選挙の投票日です

広報はちまんたい
掲載広告募集

広報はちまんたいに皆さんのＰＲ広告を載せてみませんか

市は、市民サービスの向上と地域経済の活性化を図るとともに、市が保有する資産の有効活用と自主財源の確保を目指し、市が発行する広報紙「広報はちまんたい」の７月２日号から紙面に広告の掲載を始めます。

募集する広告については、次のとおりです。

■広告の規格
▷サイズ　１枠＝縦43㍉×横85㍉
▷刷り色　フルカラー（本号のみ）、または２色（黒、緑）（本号、お知らせ号）
▷掲載料金　有料（金額は未定）
※１広告につき２枠分のスペースまで使用することができます。

■募集の方法
◦本号の広告については、広告業者へ申し込むこととなります。お知らせ号の広告については、市企画総務部総務課広報統計係に直接申し込みください。なお、印刷用データは、各自で用意願います。
◦お知らせ号の広告については、市内に住所、事業所または店舗を有する法人、団体および事業を営む個人などとします。このときの掲載料金は、一般申込者の料金の１割引きとします。
※広報はちまんたいは、毎号約10,500部発行しています。皆さんの事業ＰＲに活用ください。

詳しくは、市企画総務部総務課広報統計係（☎76-2111、内線1219）まで。

◆新型インフルエンザに注意

新型インフルエンザは、動物の間でしか感染していなかったウイルスが変異して人に感染し、さらに人から人へも感染するようになったものです。免疫を持つ人がいないため大流行し、重症化する可能性があります。しかし、不必要に恐れず、被害を最小限に食い止めるため今から予防法をしっかり身につけておきましょう。

■個人でできる感染予防法

▽正確な情報を入手

国、県、市町村などが発表する正確な情報に基づいて、冷静に対応することが大切です。

▽手洗い、うがいの励行

インフルエンザは、飛沫感染と接触感染で広がります。予防には、水と石けんを使って丁寧に手を洗い、清潔なタオルでふき取ります。このタオルは人と共用しないようにしましょう。外から帰ったらうがいを十分にしましょう。

▽マスクの着用

咳、くしゃみがある場合は必ずマスクをつけましょう。ガーゼより不織布製のものが効果的です。鼻と口を覆うよう正しく着用しましょう。

▽せきエチケット

せき、くしゃみをする際は、ティッシュなどで口と鼻を被い、他人から顔をそらして、1～2メートル以上離れます。使ったティッシュはごみ箱に捨て、すぐに手を洗います。ティッシュがない場合は口を袖口などで抑え、極力飛散しないようにしてください。

▽人ごみや繁華街への外出

流行している地域へ出掛けるのを控えることも大事です。外出時は不必要に口、鼻、目には触れないようにします。

※飛沫感染とは？

感染者のせきやくしゃみなどに含まれるウイルスを、鼻や口から吸い込むことで感染するものです

※接触感染とは？

ドアノブやつり革など、ウイルスが付いたものを触った手で、口や目の粘膜に触れることで感染するものです

福祉 NETWORK

保健のひろば

☎76-2111・内線1151 市市民部保健課

外から帰ったら、きちんと手を洗いましょう

環境のみらい

☎76-2111・内線1137 市市民部市民課

◆ごみは、決められた場所に出してください

最近、決められた場所以外にごみを出している人がいるという苦情が寄せられています。

ごみ集積所は、町内会・自治会などでお金や人手を出し合って管理しています。そのため、他の地区からごみを持ち込まれると、その地区の住民の負担が増えて、大変な迷惑をかけます。

また、ごみ集積所が満杯となり、住民の人たちが捨てることができず外に放置しておくと、カラスなどに荒らされ、害虫の発生など衛生環境が悪化する原因となります。

通勤途中などに、他の地区の集積所にごみを出すことは絶対にしないでください。ごみは、自分が住んでいる場所のごみ集積所に出してください。

※引越し等で住みはじめ、どの集積所にごみを出していいか分からない方は、近所の方や町内会長さん、アパートの管理人さんに確認して、トラブルが起きないようにご協力をお願いします。

介護のココロ

☎76-2111・内線1184 市福祉部長寿社会課

◆介護についての相談など受け付けます

市福祉部長寿社会課内の市地域包括支援センターは、介護に関する悩みや相談を受け付けます。高齢者の皆さんの人権やサービスを守るため、成年後見制度の紹介や虐待の早期発見にも取り組んでいます。お気軽に問い合わせください。

また、身近なところで相談できるよう、各地区に在宅介護支援センターを設置していますのでご利用ください。

▶西根地区　❶西根在宅介護支援センター（☎75-1255、むらさき苑内）、❷西根北部在宅介護支援センター（☎64-1110、西根北部デイサービスセンター内）

▶松尾地区　❶松尾在宅介護支援センター（☎71-1012、介護老人保健施設希望（のぞみ）内）

▶安代地区　❶りんどう苑在宅介護支援センター（☎73-2860）、❷あしろ苑在宅介護支援センター（☎72-3511）

学びの窓
がっこうニュース

市内小中学校で運動会を開催

みんなの力と心を合わせて目標に向かってがんばろう

5月16日から30日にかけて、市内小中学校で運動会が行われました。

児童や生徒たちは、この日のために練習を重ねてきた成果を十分に発揮しようと、それぞれの組に分かれて元気いっぱいに躍動。家族や地域の皆さんが支え、見守る中で駆け回り、飛び跳ね、優勝を目指して奮戦しました。徒競走や綱引きといったおなじみの種目に加えて、親子レースなど各校で特色あるプログラムで熱戦が展開されました。

自分の出場する種目以外でも、仲間たちへ大きな声援を送り、場内アナウンスや用具準備など、それぞれの役割で活躍。大会テーマとして掲げた目標に向かい、全校が一丸となっての取り組みを見せました。

児童や生徒たちは、それぞれの心に大事な思い出の1ページを刻みました。

親子で参加のチャンスレースでは、保護者もハッスル（平笠小）

紅白両軍の熱のこもった応援合戦（安代小）

みんなの学校紹介②

松尾中学校

○月×日△曜日

松尾中は、松野、寄木、柏台の3小学校を卒業した生徒が入学する学校です。

松尾中の教育は、個の人格の完成と幸福の増進、地域を担う次世代の育成を目指し、学力向上、健全育成、不適応への細やかな対応、部活動の活性化などに取り組んでいます。

3月には「農と輝（みのり）（ひかり）の大地」学習推進プロジェクトチームを立ち上げ、地域の現状と課題を学び、やがては卒業生を巻き込んだ、世代を超えて自ら発展するチームにし、地域を担う次世代の育成に寄与します。将来、遠く離れて暮らすことになる生徒にとっても、ふるさとの風土・文化・産業を学び、地域で生きる人の魂に触れることは、人生を豊かにする大きな財産となります。

このプロジェクトの第1回として、5月21日に、JA新いわて西部営農経済センターの佐々木勘一米穀園芸課長から市の農業の現状についての講演を聞き、地域のすばらしさと課題を学びました。

講演を通じて、市の農業について学びました

所在地／八幡平市野駄14-57
学校長／石井修直
教職員数／22人　学級数／7学級
生徒数／181人　ホームページ／
http://academic1.plala.or.jp/matuo/

『ねがい』
「自分を生かすためのみならず、
いつか出会う人のために
尽くせる力をつけてほしい」

博物館だより

M U S E U M

博物館 TEL63-1122・FAX63-1123

21年度の主要行事案内②

◆「八幡平市博物館研究紀要」の発刊

開館10周年記念号として、研究紀要を発刊しました。博物館活動の主な仕事は、資料収集や展示活動ですが、その裏付けとなるのが調査研究です。学芸員が普段どんなことをやっているか。展示活動とどう結びついていくのかを、この研究紀要を通じて知っていただければ幸いです。主な内容は、18年度新発見資料の「明治９年田山暦について」「安代地区のことわざ」「民俗研究の課題」などです。

◆伝統的技術文化「漆掻き」の記録保存

安代地区で、この数年伝統的な漆掻きを行っている北口勝三郎氏の１年間のその活動を追いかけてみます。特に最も活動が盛んとなる６～８月にかけては、市域を超えてあちこちに飛び回るということです。この漆掻き記録映像は博物館木地漆器コーナーで紹介したいと思っています。

◆滝をめぐる民俗散歩

米代川支流域には大小多くの滝があります。江戸時代の紀行家・菅江真澄が紹介しているように修験者やだんぶり長者との関わりが指摘されています。本年度は、鹿角市内（大湯）の５カ所（中滝・錦見の滝・銚子の滝・川島の滝・止滝）をめぐって、その問題について考えます。日程は後日お知らせいたします。

寺下の滝

◆体験教室「勾玉（まがたま）づくり」

７月～８月にかけ、何回か実施します。夏休みの工作づくりとして試してみませんか。日程は後日お知らせします。

◆体験教室「竹とんぼを作って遊ぼう」

10月実施予定です。日程は後日お知らせします。

◆体験教室「凧（たこ）を作って遊ぼう」

１月実施予定です。日程は後日お知らせします。

図書館だより

L I B R A R Y

図書館 TEL75-1700・FAX75-1701

成人向け学習会を開催

身近な歴史にふれてみませんか

郷土史家の渡辺義光氏を講師に迎え、郷土を学ぶ成人向け学習会を開催します。

■日時　６月27日㈯　午後６時半～午後８時

■内容　郷土を学ぶ①【全２回】「語り継ぎたい八幡平市のことわざ」※手作り尺八の演奏もあり

■定員　20人（先着順）６月22日㈪までに市立図書館へ直接または電話で申し込みください。

図書館ボランティア募集中

▶本のクリニック（本の修理）　毎月第３木曜日午前10時～午後３時

▶お話室壁面装飾　毎月１回（約２時間）

その他、本の整理など随時募集しています。

本の修理の様子

新着図書の紹介

■書　名	■著　者
江戸時代＆古文書虎の巻	油井　宏子ほか
パラドックス13	東野　圭吾
運命の人１・２	山崎　豊子
あの庭の扉をあけたとき	佐野　洋子
おおかみのおいしゃさん	オルガ・ルカイユほか

行事・休館日のお知らせ

▶おはなしのじかん（絵本の読み聞かせなど）６月13日㈯、28日㈰　午後３時～

▶あみぐるみ教室　６月12日㈮　午前10時～

▶短歌を楽しむ会③　６月13日㈯　午後１時～

▶「昭和史」を学ぶ会　６月15日㈪　午後１時半～

▶新刊子どもの本を読む会④　７月４日㈯　午前10時～

▶６月のテーマ展　「太宰治生誕100周年」

▶休館日　６月９日㈫、16日㈫、23日㈫、30日㈫

よろこび　おくやみ

（４月届け出分）

健やかに

小野寺　春妃（女／剛／野駄）
髙　橋　桃香（女／勇人／平笠）
吉　川　柚姫（女／伸悟／松尾）
大　和　桜香（女／篤史／上関）
津志田　美来（女／賢治／帷子）
津志田　咲来（女／賢治／帷子）
伊　藤　和　（女／勝／西根寺田）
澤　口　煌己（男／克弘／大更）
佐々木　優羽（女／翔／平笠）
田　村　優翔（男／健司／松尾）
小野寺　花凜（女／京太／上関）
斉　藤　陸斗（男／雅広／打田内）
三　浦　陽斗（男／大輔／平笠）

お幸せに

武　田　秀　樹／大更
松　田　志　子／大更

渡　邊　吉　行／大更
小野寺　優　佳／帷子

浅　野　裕　樹／大沢田
高　村　さやか／大沢田

小山田　岳　史／平舘
及　川　幸　恵／平舘

小　舘　敏　信／大更
中　村　久美子／荒木田

工　藤　直　人／松尾寄木
村　上　麗　菜／盛岡市

安らかに

宮　田　利　子　99歳　平舘
丹　内　ミ　キ　92歳　帷子
藤　原　キ　ク　86歳　田頭
峯　　昭　二　61歳　大更
大花森　清　一　81歳　平舘
古　川　チ　ヤ　79歳　松尾
田　鎖　イ　子　97歳　荒屋新町
田　村　京　子　63歳　大更
工　藤　千恵子　64歳　大更
竹　田　ヲ　ノ　96歳　大更
岩　井　貢　　54歳　松尾寄木
川　又　正　夫　91歳　丑山口
花　宮　ツヱコ　89歳　大更
立　花　善　吉　83歳　細野
髙　橋　權治郎　85歳　松尾寄木
安　保　伸　夫　42歳　西根寺田
川　村　當　　92歳　田頭
鈴　木　慶　治　92歳　大更
小野寺　邦　司　93歳　荒木田
伊　藤　甚　吉　89歳　帷子
遠　藤　毎　豊　91歳　田頭
田　村　吉　松　56歳　松尾寄木
宇土沢　又右エ門　83歳　寺志田
遠　藤　弥一郎　94歳　川原
遠　藤　榮　助　93歳　大更
角　舘　亀　藏　85歳　和屋敷道ノ下
髙　橋　清　　82歳　松尾

掲載は届け出順で届け出人が希望した場合だけ行っています。（敬称略）

■人口の動き【４月30日現在　（　）は前月比】

地　区	人　口	世帯数
西根地区	17,743（－43）	6,034（＋９）
松尾地区	6,669（－20）	2,352（－２）
安代地区	5,560（－７）	1,965（＋10）
合　計	29,972（－70）	10,351（＋17）
男　性	14,490（－49）	
女　性	15,482（－21）	

出生	15	死亡	33
転入	91	転出	142

■交通事故件数など　※累計は１月からの合計

項　目	４月	累計
人身事故	3	20
物損事故	22	216
負傷者	3	27
死　者	0	0
飲酒運転	0	0
火　災	3	5
救　急	73	325

No.45 広報クイズ ６月４日号の問題

市の農業を視察し交流を深めた特使はどこの国の人？

正解者の中から抽選で３人に500円分の図書カードをお贈りします。
◎応募方法　はがき、ファクス、メールに「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募期限　６月19日㈮　消印有効
◎応募先　八幡平市役所「広報クイズ係」　☆はがき〒028-7192（住所不要）　☆ファクス　75-0469　☆メール　somuka@city.hachimantai.lg.jp（タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は上の二次元コードからも送信できます）
◎第44回の正解　「岩手大学」
◎応募者数　12人　◎正解者数　12人
◎当選者　松村恵子さん（大更）、工藤健太さん（田頭）、藤川利香さん（曲田）

話題ピックアップ

まちのニュース

スズランの花を贈る渋川小学校の児童

スズランの花と思いやりの心を届ける慰問活動

5/19

渋川小学校（佐藤せつ子校長）の全校児童11人は5月19日、市内の病院や福祉施設などへ、学校で育てたスズランの花を贈る慰問活動を行いました。

児童たちは、スズランの花束に「元気で過ごしてください」などメッセージを添え、入院患者や施設入所者を励ましながら手渡しました。併せて市役所には、緑の羽根の募金を届けました。

この活動は、同校の森林愛護少年団活動の一環として、昭和37年から続いています。

広大な牧野でおいしい草を食べて元気に育つ

5/13

七時雨牧野に放牧された牛たち

5月1日の上坊牧野を皮切りに、市内各地の牧野で牛の放牧が始まりました。

晴れ渡る青空の下で、5月13日には七時雨山のふもとに広がる七時雨牧野へ黒毛和種の放牧を開始。農家からトラックで運ばれた約160頭の牛たちは、健康診断をしてきれいに体を洗ってもらった後、広々とした緑の草地へ放牧されました。牛たちは、牧野でおいしそうに草をはんでいました。

放牧は、牛の育成と畜産農家の作業省力化などを目的に市内各地の牧野で11月ごろまで続きます。

アメニモマケズ健脚を競う健康マラソン大会

5/17

仲良く手をつないでゴールする参加者

安代地区に春の訪れを告げる恒例スポーツイベント、第39回安代地区健康マラソン大会と第21回安代地区親子マラソン大会は5月17日、安代地区体育館前を発着点に開催されました。

小雨混じりのあいにくの天候の中、地区の住民64人が参加。開会式で市体育協会の八幡秀夫副会長は「記録や自分の目標を目指し、がんばってください」と参加者を激励しました。

またファミリーペア親子の部には、2歳の男の子も出場し、2キロのコースを元気よく駆け抜けていました。

安代地区健康マラソン大会
（5月17日、安代地区体育館前）

渋川小学校・緑の募金贈呈
（5月19日、市役所）

渋川小学校・牛乳パック寄贈
（5月19日、ポパイの家）

八幡平市産牛肉をＰＲ 牛肉推進協議会が発足

4/28

市場で高く評価されている市産牛肉の消費拡大を目的とする市牛肉推進協議会は4月28日、新岩手農協西部営農経済センターで設立総会を開催しました。

総会には、生産者など約20人が出席。地産地消の推進などによる市産牛肉の消費拡大に向けた事業計画や収支予算などが承認されました。

協議会では本年度、のぼりやポスター、パンフレットの製作のほか、試食会を開き市産牛肉の魅力をPRしていきます。また市内でも味わえるよう流通量を増加させていきます。

地元商店街に新たな風 フリーマーケット開催

5/24

荒屋新町商店街四日市事業の一環であるフリーマーケットは5月24日から、荒屋新町商店街の中心部にある「よりあい処・ぬくもり」前で始まりました。

これは、荒屋新町地域で毎月4の付く日に開催されている定期市に合わせ行われるもので、ことしは10月24日まで、計16回の開催を予定しています。

1回目となるこの日は、野菜やドン菓子などを販売する4店舗が出店。そば街道の会による手打ちそばの実演と試食も行われ、会場は多くの地域住民などでにぎわいました。

地域の住民同士の交流もフリーマーケットの魅力

ＮＺ政府に農政分野で助言する特使が市を視察

5/12

農家と意見交換をするポールソン特使

ニュージーランド（ＮＺ）政府のアリスター・ポールソン農業特使は5月12日、市内の農家などを訪れ、視察や意見交換を行いました。

乳用牛の生産者や黒毛和種の肥育農家、リンドウの雪冷房培養育苗生産施設を視察。生産コストや市場価格、資金調達の方法など、わが国における農業の現状について理解を深めました。

ポールソン特使自身も、ＮＺで1900ヘクタールの農地で約2万頭の肉用牛と羊を飼う農家。ニュージーランドの農業の実情などを紹介しながら、世界貿易機関（ＷＴＯ）の新多角的貿易交渉（ドーハラウンド）の結果によって生産者が受ける影響などについての意見交換を通じて、農家と交流しました。

市花き研究開発センターの日影孝志所長から、リンドウの栽培や品種改良に関するＮＺと市がこれまで協力してきた取り組みについて説明。ポールソン特使は「両国ともに利益のある、すばらしい成功事例で他の分野にも参考になるだろう」と高く評価しました。

すなっぷギャラリー

ポールソン農業特使視察
（5月12日、リンドウ育苗施設）

荒屋新町商店街フリーマーケット
（5月24日、よりあい処・ぬくもり）

母の日に家族そろってめでたい百寿のお祝い

5/10

家族とともに100歳の誕生日をお祝い

工藤キヨさん（田頭）は5月10日、めでたく100歳の誕生日を迎え、大勢の家族とともに祝いました。

滝沢中央病院で行われたお祝いには、家族など約30人が出席。田村正彦市長も掛け付け、「元気で長生きしてください」とお祝いの花束を手渡しました。

工藤さんは明治42年、寄木新田生まれ。子ども3人、孫15人、ひ孫17人、やしゃご4人に恵まれました。家族は「行商をしていた経験から、すべての人に感謝しながら生きてきたのが長生きの秘訣かな」と笑顔を見せました。

みんなの命を事故から守る交通指導員を任命

5/11

田村市長から辞令を交付

市交通指導隊の新入指導員への辞令交付式は5月11日、市役所応接室で行われました。

関係者など約10人が出席する中、田村正彦市長から田村真行さん（大更）へ辞令を交付しました。

田村市長は、「交通指導隊は、出動回数も多く、大変重要な任務です。市民の生命を守るため、交通安全普及に尽力してください」と激励の言葉を述べました。また、市交通指導隊を代表して、高橋忠一隊長から「地域のために、がんばって活動をして欲しい」とあいさつしました。

こども自然塾で身近な野山から生態系など学ぶ

5/16

生き物を見つけて目を輝かせる子どもたち

地域の子どもたちに身近な自然環境について考えてもらおうと、積水メディカル株式会社岩手工場（根釜務工場長）は5月16日、セキスイこども自然塾を開きました。

この催しは、同社の地域貢献活動の一環として行われているもので、岩手工場で行われるのは今回が初めて。松野小学校の児童など17人が参加。同社岩手工場の敷地内に広がる雑木林を、講師役を務める環境コンサルティング会社社長の川那部真さんや同社の社員と一緒に探検しました。

子どもたちは、雑木林の中でハチの仲間やミミズなどを発見。水辺では、サンショウウオの幼生やヨコエビ、マツモムシなどを見付けると、観察してスケッチをしました。

また、地球上を水が循環している仕組みや、生態系の営みなどについて学び、身近な野山を通じて自然への理解を深めました。

参加した工藤宥哉くん（松野小4年）は「たくさんの生き物を観察することができて良かった。生態系のことなどを教えてもらい、びっくりした」と目を輝かせていました。

すなっぷギャラリー

セキスイこども自然塾
（5月16日、積水メディカル岩手工場）

セキスイこども自然塾
（5月16日、積水メディカル岩手工場）

大きく手を上げて横断歩道を渡る園児たち

保育園児たちが交通マナーなど学ぶ教室に参加

5/19

あしろ保育所畑分園の交通安全教室は5月19日、同分園と周辺の路上で行われました。

この教室は簡単な交通マナーを、園児のうちから身に着けることを目的に行われるもので、岩手警察署安代駐在所の所員や市交通指導員が指導に当たりました。

山根誠安代駐在所長が「今日は、道路の歩き方や横断歩道の渡り方を勉強します。大切な勉強ですので、最後まできちんと聞いてください」とあいさつし、教室が始まりました。始めに同分園のホールで、道路では右側を歩くことや、横断歩道では右手を上げて左右を見て、車が来ないことを確認してから渡ることなどを勉強。それから実際に路上に出て、近くの横断歩道を一人ずつ渡りました。

保護者の見守る中、園児たちは真剣なまなざしで左右を確認し、横断歩道を渡っていました。

足浴をしながら患者とふれあう生徒

現場のふれあいを通じ大切な看護の心を学ぶ

5/14

ナイチンゲールの誕生日にちなんだ5月12日の「看護の日」に合わせて5月14日、国保西根病院でふれあい看護体験を行いました。

平舘高校、盛岡農業高校、盛岡南高校の生徒10人が参加。白衣に身を包んだ生徒たちは、看護師の指導を受けながら、入院患者のつめ切りや足浴、食事の介助などといった身の回りの世話を体験しました。

平舘高校3年の工藤春香さんは、「周りの皆さんを手本に、笑顔で接することができました」と満足そうな笑顔を浮かべていました。

庁舎建設の基本計画を分かりやすく解説する

5/25

基本計画について説明（写真は柏台分館）

市庁舎建設基本計画について理解を深めてもらおうと、5月25日の柏台分館を皮切りに市内12会場で住民説明会を開催しています。

庁舎建設についての市の基本的な考え方に加えて、建設を予定する位置や総事業費といった具体的な内容をまとめた映像を使い、分かりやすく説明します。

今後予定されている住民説明会の日程は次のとおりで、いずれも午後6時半からの開催です。▽6月8日(月)・寺田公民館、9日(火)・田頭公民館、10日(水)・大更公民館、12日(金)・平舘公民館

あしろ保育所畑分園交通安全教室
（5月19日、あしろ保育所畑分園）

ふれあい看護体験・施設見学
（5月14日、西根病院）

ふれあい看護体験・食事介助
（5月14日、西根病院）

日本語教室を開催 参加者募集します

日本語教室を次のとおり開催します。

We're looking for people to participate in Japanese Lessons.

The classes will be held on the following days,

■日時(Dates/Time)
6月(June)：21日、28日
7月(July)：5日、12日、26日
8月(Aug.)：2日、9日、23日、30日
9月(Sep.)：6日
毎週日曜日(every Sunday)、14：30～16：00

■場所(Location)　西根地区市民センター(Nishine chiku shimin center)

※6月28日は、平舘公民館です。
June 28 class will be held at the Tairadate kouminkan.

詳しくは、㈶岩手県国際交流協会(☎019-654-8900)まで。

For more information,please contact the Iwate International Association at 019-654-8900.

ワクチンの接種で アカバネ病を予防

アカバネ病は、妊娠牛に異常産(流産や奇形子牛の分娩など)を引き起こす病気です。

アカバネウイルスは、ヌカカ(吸血昆虫)によって運ばれます。県内でも昭和60年から61年にかけて大流行し、6,000頭を超える異常産が発生し、8億3千万円の損害を被りました。

ワクチンは、ヌカカが活動する前の4～6月に接種します。対象牛は、1月～9月までの間に「種付けした牛」または「種付け予定の牛」です。ワクチンを接種し、アカバネ病を予防しましょう。

詳しくは、岩手県中央家畜保健衛生所(☎019-688-4111)まで

ノスタルジックカーミーティングを開催

時を経ても多くの人から愛されるクラシックカーの魅力を伝えることを通して、地域を活性化していこうと、第2回ノスタルジックカーミーティングｉｎ八幡平を次のとおり開催します。

国内外の懐かしの旧車やスポーツカーなどが全国から一堂に会します。入場無料ですので、お気軽に入場ください。

■日時
▷6月13日(土)、午前10時から午後9時まで
▷6月14日(日)、午前10時から午後3時まで

■場所　岩手山焼走り国際交流村特設会場

クラシックカーの展示のほか、無料の同乗体験ドライブや清美さんのミニコンサート、産直市なども行います。

詳しくは、ノスタルジックカーミーティングｉｎ八幡平実行委員会事務局・遠藤(☎090-5558-0148)まで。

さんさ踊りパレード 参加してみませんか

さくらさんさ愛好会(代表:山口聡子)では、8月1日から盛岡市で開催される盛岡さんさ踊りパレードに今年も出場します。

そのパレードに向けた練習を次のとおり行います。初めての人も大歓迎ですので、さんさ踊りに興味のある人は気軽に練習会場に来てください。

■日時　毎週火曜日、午後7時から9時まで

■場所　松尾ふれあい文化伝承館

※練習時間、場所は変更になる場合があります

詳しくは、さくらさんさパレード参加事務局・佐々木(☎74-4363、Eメール：nobusa@gmail.com)まで。

INFORMATION

お知らせ

詳しくは各担当、各機関に問い合わせを
八幡平市役所　☎76-2111
松尾総合支所　☎74-2111
安代総合支所　☎72-2111
ホームページはこちら
http://www.city.hachimantai.lg.jp/

児童手当の現況届は6月30日が提出期限

児童手当を受給している人は、引き続き手当を受給するための審査に必要な現況届を市に提出してください。

対象者には、郵送でお知らせしています。現況届がないと、受給できない場合がありますので、早めの提出をお願いします。

■提出期限　6月30日㈫

■受付場所　市福祉部児童福祉課、松尾総合支所地域振興課、安代総合支所地域振興課、田山支所

詳しくは、市福祉部児童福祉課(☎・内線1176)まで。

業務で使用する計量器定期検査をお忘れなく

取り引き、証明に使用する計量器は、2年に1度の検査が義務付けられています。該当する計量器は、必ず受検してください。

■日時場所

7月13日㈪	大更田頭	フーガの広場	午前10時～午後3時半
7月14日㈫	平舘寺田	平舘公民館	午前10時～午後3時半
7月15日㈬	松尾	松尾総合支所・車庫	午前10時～午後3時半
7月16日㈭	荒沢	安代総合支所・車庫	午前10時～正午
	田山	田山支所・車庫	午後2時～3時半

※正午から1時まではお休みです

■検査手数料　250円～2,100円(種類により異なります)

申し込みなど詳しくは、市産業部商工観光課(☎・内線1264)まで。

岩手山焼走り国際交流村温泉館を保守点検で休館

岩手山焼走り国際交流村温泉館では、保守点検のため次のとおり休館します。

■期間　6月16日㈫から17日㈬までの2日間

詳しくは、岩手山焼走り国際交流村(☎76-2013)まで。

こころの健康相談を開催気軽に申し込みください

自分や家族の心の悩み、ひきこもり、認知症、飲酒の問題などについて、次のとおり専門の医師が相談に応じます。(予約制です)

■日時　6月15日㈪、午後1時～

■場所　西根地区市民センター

■申込期限　6月10日㈬

申し込みなど詳しくは、市市民部保健課(☎・内線1154)まで。

長寿健診実施します希望者は申し込みを

長寿健診は、循環器系の病気で医療機関を受診していない75歳以上の人が対象です。申し込んだ人には受診票が送付されます。

配布されている各種検診日程表を確認し、受診してください。申し込みをしていない人で受診を希望する人は、当日受け付けに申し出てください。

各種検診などについて詳しくは、市市民部保健課(☎・内線1152、1154、1156)まで。

恒例八幡平市民号の参加者を募集します

ＪＲ大更駅、びゅうプラザ盛岡では、八幡平市民号を次のとおり開催します。

4回目となる今回は、福島県福島市にある「飯坂温泉」と福島県田村市にある「あぶくま洞」を目指します。

■日程　6月19日㈮から20日㈯までの1泊2日

■主な旅程　田山駅→大更駅→上杉家御廟所→高畠ワイナリー→飯坂温泉「祭屋湯左衛門」→あぶくま洞→三春ハーブ花ガーデン→大更駅→田山駅

■旅行代金　大人1人29,800円

■募集定員　80人(最小催行人員30人)

申し込みなど詳しくは、ＪＲ大更駅(☎76-3115)まで。

日本語学習の支援を一緒に始めませんか

財団法人岩手県国際交流協会では、日本語教室をサポートする人材を養成する日本語サポーター研修会を次のとおり開催します。

市内に暮らす外国人は、10年前に比べ2倍に増加しています。日本で暮らす外国人にとって日本語は欠かせないものあり、越えるのが難しいハードルでもあります。

この研修会では、異文化の中で暮らすとはどんなことか、日本語教室を運営し、生活のための日本語学習の支援をするとはどういうことなのかを実践とともに学びます。

■対象　研修終了後、日本語サポーターとして活動できる人

■定員　20人

■受講料　無料

◉概論研修

▷日程・会場

6月13日㈯、14日㈰・平舘公民館

8月1日㈯、9月5日㈯・西根地区市民センター

※時間は各日とも午前10時半から午後4時半まで

▷講師　岩手大学国際交流センター准教授　松岡洋子さん

◉実地研修

▷日程　6月21日㈰、28日㈰／7月5日㈰、12日㈰、26日㈰／8月2日㈰、9日㈰、23日㈰、30日㈰／9月6日㈰

※時間は各日とも午後1時から4時半まで

▷会場　西根地区市民センター(6月28日のみ平舘公民館)

▷講師　県国際交流協会登録の日本語教師

■申込方法　所定の様式に必要事項を記入して、申し込んでください。様式を希望する人は、協会まで連絡ください

申し込みなど詳しくは、㈶岩手県国際交流協会(☎019-654-8900)まで。

Zoom Up 人

丸山　富洋 さん

●まるやま・ふみひろ　ことし市内に誕生した社会人サッカーチーム「アンソメット岩手八幡平」の監督に就任。選手としてもチームを引っ張る。趣味はスポーツ観戦。「強気な性格で、思いついたらすぐ行動してしまう」と自己分析する。「一体感」をモットーにチームづくりに励む。血液型O型のおひつじ座。広島県広島市出身。いこいの村岩手勤務。

「地域に根ざしたチーム」勝利へのこだわりとともにうちのチームの真ん中にあるのはそれなんです

新たに市内に誕生した社会人サッカーチーム「アンソメット岩手八幡平」で選手兼監督を務める丸山富洋さん。現役選手としてチームを引っ張りながら、監督としてチーム作りに奔走している。

チーム名の「アンソメット」とは、フランス語で山並みを意味し、岩手山や八幡平、七時雨など豊かな自然に囲まれた八幡平市をイメージして名付けられた。その名前が表しているようにアンソメット岩手八幡平は、地域に根ざした、一体感のあるチームを目指している。

丸山さんがサッカーを始めたのは、小学校2年生のとき。元々は野球が好きだったそうだが、マンガ「キャプテン翼」に夢中になり、サッカーにのめり込んでいく。

中学校、高校とサッカーを続け、高校2年生のとき丸山さんのサッカー人生に大きな影響を与える出来事が起こる。

Jリーグの誕生―。日本にプロサッカーリーグが発足したのである。丸山さんはサッカー部の監督のってで、Jリーグチームのユースチームの練習に参加していた。

「このころからですかね、漠然とですけど、プロを意識するようになったのは」

卒業後は、JFLのチームなどに所属し、Jリーグチームとも試合を重ねた。そのときプロの選手との差をまざまざと感じたという。

「身体能力に違いはそれほどないと思います。ただ、一つ一つのプレーの正確さやミスの少なさには、大きな差がありましたね。さすがはプロ。けど、あきらめているわけではないですよ。自分たちにも、できないわけはないと思ってます」

岩手に来るきっかけとなったのは、武藤真一前FCガンジュ岩手監督との出会い。FCガンジュ岩手を創設するときに声を掛けられた。

「悩みましたが、チームをゼロから作ることに参加できるのは一生に一度あるかないか。自分もその一員になりたいと思いました」

FCガンジュ岩手では主将を務め、そして現在のアンソメット岩手八幡平では選手兼監督。責任の重さは比べものにならないという。監督としては、まだスタートラインに立ったばかり。もちろん、ぶつかる壁も多い。しかし、少しずつではあるが、地域からの応援も増えてきている。地元出身の選手もチームになじみ、重要な戦力となっているという。丸山さんの挑戦は、これからも続く。

広報／はちまんたい　2009.6
平成21年6月4日発行
（毎月第1、第3木曜日発行）

発行・編集／八幡平市役所企画総務部総務課　印刷／川口印刷工業㈱
〒028-7192　岩手県八幡平市大更35-62　☎0195-76-2111
FAX0195-75-0469　ホームページURL http://www.city.hachimantai.lg.jp/

ミックス品
FSC
PRINTED WITH SOY INK